

滋賀 GPN

Shiga Green Purchasing Network

滋賀グリーン購入ネットワークニュース

第20号 2011年10月

News

GPN Green
Purchasing
Network

環境への負荷が少ない商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

CONTENTS

- Report1「2011年度通常総会・グリーン購入シンポジウム」 …… 1
- Report2 真夏の太陽の下、大人も子供も
太陽電池に目を輝かせた2つの見学会！ …… 4
- エコに学べ！ 甲賀市 ……………… 6

- 新規会員紹介 ……………… 7
- 会員発エコ商品情報
新江州株式会社／NPO碧いびわ湖 …… 8
- 編集後記 ……………… 8

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げると共に、犠牲者の皆様のご冥福をお祈り申し上げます。滋賀GPNも微力ながら被災地復興のお役に立ちたいと会員・関係者の皆様に義援金を募ったところ348,649円の義援金が寄せられました。滋賀GPN事務局では、このうち50,000円をみやぎGPNにお見舞い金として送金し、298,649円を日本赤十字社「義援金窓口」を通じて被災地へ届けました。ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。

Report1 2011年度通常総会・グリーン購入シンポジウム

2009年12月に設立10周年を迎えた滋賀GPNでは今後さらに活動を充実させるため、この1年、幹事会を中心に協議・検討して新たな活動ビジョンを策定し、通常総会にて報告しました。また、活動の充実には組織力を高めることも必要であることから、法人格取得を目指して準備を始めること等を決めました。

◆開催日：2011年5月16日(月)
◆会 場：滋賀県庁 東館7階 大会議室 ◆参加者：157名

総会の議事終了後には「食から始めるグリーン購入～本当の豊かさを求めて～」というテーマでシンポジウムを開催し、事例報告(2,3ページ参照)とフロアトークを行いました。

「震災から学び、自分たちの暮らしの安全を確保するために、消費スタイルを考え直す時期に来ている」「安いものを追求し続ければ、必ず安心安全に引っ掛かってくる」「安全を人工的に作ることは難しい。食べ物の採れる時期に見合ったメニューを考え



ることが本当は大切」「エネルギー消費量を削減しながら、人々の満足度を維持させる仕組みが必要。現在の社会システムのままで世界人口が70億を超えること立行かない」「食の地産地消と共に雇用の地産地消を進めることで、本当の意味での持続可能性、人々の満足感や幸福感、充実感に繋がるのではないか」「私たちが変わらないと体制は変わらない。だからグリーン購入なのだ。」

フロアトークでは食・エネルギー・雇用問題と幅広い議論が展開され、嘉田知事から「今こそこれまでのGPN活動の成果を示す時、まさに正念場だ」という力強いメッセージもいただきました。



<フロアトーク登壇者> 写真左から

コーディネーター：滋賀GPN代表幹事

土屋 正春

パネリスト：滋賀県知事

嘉田 由紀子氏

ルネサス関西セミコンダクタ株式会社

環境工務部エキスパート

小林 康司氏

株式会社一番 常務取締役

高橋 渉氏

GPN会長・東京都市大学 教授 中原 秀樹氏

グリーン購入シンポジウム 「食から始めるグリーン購入

食に関する取組みの事例報告

滋賀GPNでは毎年、社員食堂を有する会員企業に、食堂での地産地消の取組と社員への意識啓発を兼ねた「地産地消フェア」の実施を呼びかけています。前年にフェアを実施された企業を中心に、食にまつわる事例報告をお願いしました。

シダックスフードサービス株式会社

京都支店 栄養管理担当 谷川 駿氏

旭化成住工滋賀工場様の社員食堂で実施した「地産地消フェア」について報告。同社では2008年から「環境こだわり米」を採用するなど、地産地消に取り組まれている。

実際にあたっては、JA湖東様のご協力で東近江市産の各種野菜を仕入れて使用した。また、旭化成住工社員様への食生活を含む生活の習慣見直しを呼びかける「健康キャンペーン」も実施している。



ダイキン工業株式会社 滋賀製作所

企画部 川村 佳奈氏

社員の環境意識の向上を目指す「桜ecoプロジェクト」の一環で「ゴーヤカーテンイベント」を実施。ゴーヤを植えて社員全員で育て、その省エネ効果は予想以上で話題の中心となった。収穫したゴーヤは社内食堂のメニューに登場し、毎日すぐに売り切れる好評ぶり。みんなで植えて、みんなで収穫して、みんなで食べる。その感動と喜びを社員で共有し、貴重な経験となった。



長浜キヤノン株式会社

総務課 筑田 真樹氏

日本経団連の方針を受け、キヤノングループ全体目標として野菜の地元調達率のアップという目標が掲げられたため、取り組みを始めた。食堂業務を委託するエル・スエヒロフードサービスに依頼して、毎月1回「地産地消フェア」を開催。地元野菜使用と記したポップ等で利用者にPRしている。エル・スエヒロでは、運営委託を受ける他の5事業所でも近江米の利用に努める等、地産地消に取り組む。



ルネサス関西セミコンダクタ株式会社

環境工務部エキスパート 小林 康司氏

食堂業務を委託するNECライベックスの協力により、「おいしがうれしが」「応援しますヘルシーライフ」等のイベントを開催。米は12年前から無洗米、滋賀県産の「秋の詩」を使用している。



たまごはHACCP(衛生管理手法)で管理する東近江の業者から仕入れ、野菜も県内産。特に長浜の「さじかぼちゃ」のような伝統野菜の使用に努め、食材やパネルの展示で利用者へのPRも行う。

株式会社一番

常務取締役 高橋 渉氏

1日8000食の弁当を製造し、リユース容器でお客様に提供している。そこから出る生ごみのリサイクルに取り組み、99%リサイクルを達成している。生ごみの1/3は脱水して堆肥化し、近江たんぽぽ村に提供、そこで作られた米を弁当に使うというリサイクルループを構築している。生ごみの2/3は、飼料として近江八幡の養豚場に提供している。今後、全くごみを出さない工場を目指したいと考えている。



参加者アンケートより

- グリーン購入ネットワークへの参加団体の多さにただただ驚きだった。
- 食の安全安心が注目されている。今までに前進する時が来たと思う。
- エネルギー・食の問題ともに「豊かさ」「満足感」は今までとは違う価値観が世の中に生まれないといけないのではないかと思いました。
- 「ゴーヤカーテン」の報告が良かったです。ハンドルが高くなく全員参加で行う事ができ、成長・食の楽しみもあり、結果(成果)も分りやすく、楽しんで出来るのも良いと思いました。
- どの企業も一歩ずつ確実に「地産地消」と「リサイクル」に取り組まれていて素晴らしいと思いました。特に「一番」さんのゴミ「0」への目標、是非実現でき他の企業にも広まるといいです。

～本当の豊かさを求めて～

「グリーン購入大賞」受賞事例報告

グリーン購入の優れた取組を行った団体を表彰する「グリーン購入大賞」。

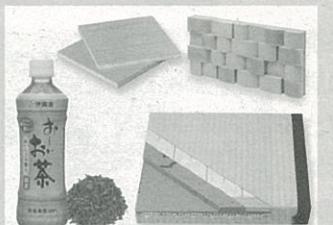
今回は2010年度に行われた第12回グリーン購入大賞を受賞された会員2社に、受賞事例を報告していただきました。

第12回審査員奨励賞受賞

株式会社伊藤園

『茶殻リサイクルシステム』

「お~いお茶」をはじめとする茶系飲料製品を作る際に出る茶殻は水分を多量に含むため腐りやすく、リサイクルしにくい。そこで10年前に、水を含んだまま茶殻を保管・運搬、リサイクル製品に配合する技術を開発、茶殻を工業製品の原料として有効活用することに成功した。



「お~いお茶」は国産原料100%のため、茶殻リサイクル製品も国内資源の有効活用に努めた製品、お茶の持つ抗菌・消臭効果、香り等を付与した製品となる。様々な専門会社の協力で、茶配合ボード、プラスチック製品、各種紙製品等、アイテムは30以上にのぼる。また、茶殻の供給元である飲料工場、茶殻リサイクル製品の製造会社、販売会社などとネットワーク

「チーム茶殻」を立ち上げ、定期的な情報交換を行い、茶殻リサイクル製品市場の拡大に努める。他に、「お~いお茶」の売上の一部を琵琶湖のヨシ帯再生等に寄付するキャンペーンをはじめ、清掃運動やヨシ刈りボランティア活動等、琵琶湖にまつわる活動も展開している。



発表者:
環境部生活環境室
室長 中澤宙也氏

第12回審査員奨励賞受賞

びわ湖放送株式会社

『買うならエコ! とおきエコ情報キャンペーン』

びわ湖放送の媒体を活用し、CMと自社番組のコーナー企画で、滋賀GPNのキャンペーンの周知を図った。



平日夕方放送の情報番組「キラリン滋賀545」の中で、土屋代表幹事や滋賀GPN会員企業が出演し、食、サービス、交通、住宅等、グリーン購入に関する様々なテーマを取り上げて解説し、合計8回放送された。他にも、土曜夜放送の環境啓発番組コーナー企画として3回にわたって取り上げ、会員企業の取組紹介や、スーパーを舞台に「グリーン購入の実演」を放送することでその意義をうたったなど、視聴者の目線で実践を呼びかけた。



発表者:
報道部
グループリーダー
井上みゆき氏

今回の受賞は番組が視聴者の視点でわかりやすい内容になっている点と、メディアの普及の大きさを考慮し、グリーン購入普及の価値ある取り組みであると評価していた。マスコミが受賞したのは今回が初めてだそうで、大変、意義のある受賞だったと考えている。

今年も盛り上がった!「会員情報交換会」

総会・シンポジウム終了後、2010年度に好評だった「会員情報交換会」を今年も開催しました。前年度の参加者アンケートを参考にして、今年は「食のグリーン購入」「エコ商品・サービスの普及拡大」「森林とグリーン購入」といったテーマ設定グループも設けたため、共通の思いを持つ方たちが前年度以上に熱い議論を交わされたようでした。3つできたフリーディスカッションのグループでは、「もっと滋賀GPNを知りたい」「他の会員と親しくなりたい」といった方が集まり、楽しい情報交換の場となりました。

参加者アンケートからは、「多種多様な異業種の方とフリーに話し合え大変有意義だった」「情報交換会をまた機会があればやって欲しい」という声が多く見受けられました。また、「時間が足りなかった」という声も多かったため、事務局ではこうした機会を今後さらに増やしていく考えています。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



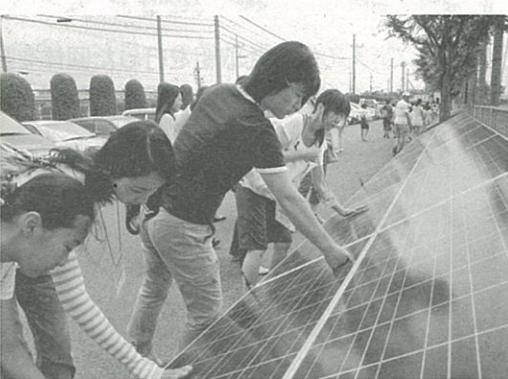
Report2

真夏の太陽の下 大人も子供も太陽電池に目を輝かせた 2つの見学会!

親子向け

夏休み エコ体験ツアー!

開催日: 2011年8月11日(木)
 会 場: 京セラ 滋賀八日市工場
 主 催: 滋賀GPN
 協 力: 京セラ株式会社
 後 援: 滋賀県・滋賀地球温暖化防止活動推進センター



「夏休みの自由研究対策に!」「京セラ工場で食とエネルギーとエコを学ぼう!」「親子24組無料ご招待!」と一般消費者に呼びかけて参加者を募集した「エコ体験ツアー」には、予想を上回る70組以上のご応募をいただきました。当日は京セラ滋賀蒲生工場様・八日市工場様のご協力により、抽選で選ばれた24組の親子の歓声が響く、楽しい1日になりました。その一部をご紹介します。

()は当日のプログラム名称



※原文のまま掲載させていただきました。

参加者アンケート

お子様より

- レモンをスミにしたら軽くなつていてびっくりした。とても勉強になって楽しかった。
- ノートやえんぴつをさいごまで使おうと思った。
- たいようでんちをくわしくしることができた。
- 買い物に行くときは「マイバッグ」、ノートを選ぶときは環境にやさしいマークがついているか確認して買った方がいいと教えてもらったので、おじいちゃんやおばあちゃん、友達にも環境にやさしい物を買おうと言って「世界中のみんなが、いいくらしができるようにしたい」と思いました。

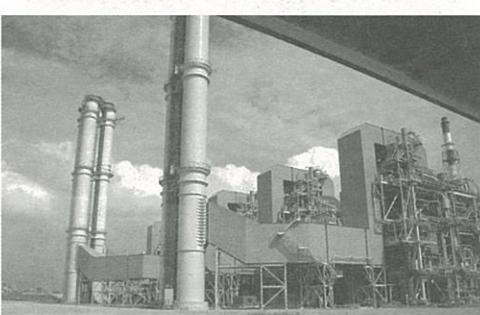
- クイズや実験を取り入れて、子供たちにもわかりやすく説明してくださりよかったです。
- 子供たちが今後この学びを生活の中で実践して広めていってくれれば、社会・地球のためになると思うので、とても意義のある体験ツアーだったと思います。
- 何気なく使い終わっていた油で車が走る体験は、親子で感動しました。
- 期待以上に楽しめました。子供も大人も勉強になり、これからエコのことを考えていこうと思いました。特にノートの問題は良い勉強になりました。

保護者の方より

大人向け

事業所見学会

開催日: 2011年8月25日(木)
 主 催: 滋賀GPN
 協 力: 関西電力株式会社 滋賀支店
 参加者: 41名
 見学者: 堺LNG株式会社
 関西電力 堺港発電所・堺太陽光発電所



▲堺港発電所はコンバインドサイクル発電方式の火力発電所。ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた発電方式で、従来の火力発電より約4割も効率が向上し、CO₂の発生量が少ないすぐれた発電方式だそうです。発電所の運転の様子は、見学通路にあるシースルーステーションから中央制御室を見学しました。



▲天然ガスの貯蔵・供給ステーション、堺LNG株式会社の貯蔵タンク。1つのタンクにジャンボジェット2機が入る大きさだそうです。



▲話題のメガソーラー発電所。大阪府が所有する産業廃棄物埋め立て処分場(約21ha)を利用して、堺市との共同事業でつくられた発電所です。下水の汚泥により埋め立てられた土地で、1mに2トン以上の重量には耐えられないため、コンクリート基盤の上に直接パネルを載せたコンパクトなつくりになっていました。広大な敷地に整然と並んだ約7万枚のパネルに圧倒されました。しかし、これだけ並べても約3000世帯分の電力しか貰えないということでした。

※原文のまま掲載させていただきました。

参加者アンケート

- 企画自体が時期を得ており、皆の関心の高いテーマであり良かった。往路のバス内での自己紹介は、互いを知る良い企画でした。
- エネルギーを選択する上で安全性や環境への影響だけでなく、経費、効率や耐用年数など様々な項目について意識していかなければならないと感じました。
- 火力発電所もソーラーとともに大きく広くて感動しました。反面、私たちはそれだけ多くの電気を消費しているということだと、日頃の無駄遣いを反省しました。
- 一個人では絶対に立ち入れないプラントに見学できたことを大変うれしく、貴重な経験ができたと感じています。「凄い」の一言でした。
- あらためて、これまで原子力に依っていた電力供給の大きさに圧倒される気がしました。
- どの事業所様も大変意欲的で見学が今のニーズに合っているのを感じさせていただきました。バスの自己紹介、質疑応答等で、交流も深めることができ、参加させていただけて本当に良かったです。

エコに学べ！● 市民参加の環境活動 「生ごみ堆肥化循環システム」

甲賀市

甲賀市の燃えるごみ

当市では、燃えるごみを隣接する湖南市とともに甲賀広域行政組合の衛生センターで焼却処理しています。平成14年ごろには、施設の焼却能力の90%を超える廃棄物が搬入されていました。その中でも、水分が85%以上もある生ごみは、燃えるごみの4割程度を占めるうえ、焼却の際に水分を蒸発させて焼却効率が悪く、無駄な経費も必要となります。

さらに、燃えるごみが増えることで近い将来には、新たな施設を建設する必要性が高くなり、住民の負担

が大きくなることは明らかでした。

生ごみは立派な資源です
～生ごみ堆肥化循環システム～

そこで、生ごみも立派な資源であるとの理念のもと、ごみの減量化と地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生抑制を狙いとして、生ごみを堆肥化して出来上がった堆肥を、また生ごみに混ぜて堆肥にする種にするという（このことから、出来た堆肥を“種堆肥”と呼んでいます）、新たなごみ処理のシステムを考えました。

家庭では、市が配布する種堆肥と生ごみを蓋付きのパケツにサンドイッチ状にして保管します。種堆肥を生ごみに混ぜることで、パケツ内で前処理としての発酵が進み、生ごみの臭いが抑えられます。ある程度パケツがいっぱいになった時点で、ごみ集積所に設置してある生ごみ専用の回収容器に出します。

甲賀広域行政組合の衛生センターに搬入される可燃ごみも、かつては顕著な増加傾向であったものの、ごく近年では減少傾向にあります。

この生ごみ堆肥化循環システムで出来た堆肥は、堆肥としても非常に有効で、将来は地域農業と連携して資源の地域循環に活用したり、フードマイレージの側面からも環境保全に寄与できればと考えています。

お問い合わせ

甲賀市
市民環境部生活環境課
〒528-8502
滋賀県甲賀市水口町水口6053
甲賀市役所水口庁舎
TEL:0748-65-0692
FAX:0748-63-4582



第13回 グリーン購入大賞

・大企業部門「大賞」「経済産業大臣賞」。

環境意識向上活動によるグリーンコンシューマーの育成・拡大
京セラ株式会社 滋賀蒲生工場・滋賀八日市工場

・プロジェクト部門「大賞」

環境と福祉の融合によるグリーン購入促進の取り組み
～エコラボは一しがの取り組みを中心につなげ～

社団法人滋賀県社会就労事業振興センター

グリーン購入の優れた取組みを行う団体を表彰することにより、一層の取組みを奨励するとともに、事例の紹介を通じてグリーン購入を普及することを目的とする表彰制度「グリーン購入大賞」。第13回目を迎える今年、滋賀GPNから会員2団体が「大賞」に輝きました。また、連名で受賞された京セラ滋賀蒲生工場様、滋賀八日市工場様は「経済産業大臣賞」も受賞されました。

受賞内容の詳細はホームページをご覧いただけます。

<http://www.gpn.jp/>

新規会員から ひとこと

2011年2月1日～8月31日入会会員

株式会社 市金工業社

(代表取締役 川口剛史)

弊社は昭和29年、染色整理機械の生産販売から始め、今ではその技術を高分子化学業界において発展させ、技術の市金として産業界発展のために日々努力しております。

株式会社 一番

(常務取締役 高橋 涉)

添加物をゼロにする“人にやさしい”とリサイクルループによりゴミをゼロにする“地域にやさしい”をモットーとした愛情いっぱいのお弁当を配達いたします。

株式会社 永昌堂印刷

(総務部 鳥塚正人)

今年も当社工場の川にカルガモの親子が遊びに来ました。カルガモ親子が安心して遊べるようなクリーンな環境づくりを印刷を通してお手伝いさせていただきます。

観光交流企画室TAC

(代表 中田 亘)

滋賀県産間伐材のエコストラップや回収済み牛乳パックを使ったエコうちわなど様々なエコグッズを開発し、お土産や販促の分野でのグリーン購入を研究しています。

株式会社 K Planning

(代表取締役 岸本英二)

我社では省エネ照明を用いた設計・販売・施工を行っております。適材適所の提案でグリーン購入の推進、低炭素社会への取り組みを考えております。よろしくお願ひいたします。

株式会社 昭建 試験研究所

(所長 山脇實男)

我社には、環境に配慮した舗装施工技術があります。遮熱性舗装・保水性舗装・土系舗装などの施工技術でもって皆様のグリーン購入のお手伝いができると想っております。

NPO法人 日本食品リサイクルネットワーク

(関西支部長 吉田栄治)

食品リサイクルは三方よし（売手よし、買手よし、世間よし）「土づくり良し」、「作物良し」「環境良し」です。ご興味・ご感心をお持ちの方、ご一報をお待ちいたしております。

樋口金物株式会社

(代表取締役 樋口孝一)

土木・建設用品、資材を県内一円・県外の得意先に出荷販売しています。エコマーク商品・グリーン購入品目を優先して仕入れお互いの意識の向上に努め、努力いたしております。

株式会社 ロータリープロジェクトシステム

(工場長 横野雅博)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生土を受け入れ現場のニーズにあった100%循環型リサイクル材を開発する事により森林伐採やCO₂削減に取り組んでいます。

株式会社 伊藤園

(大津支店 山名 悟)

関西地区では平成23年11月～平成24年1月の3ヶ月間、お~いお茶飲料の売上の一部を琵琶湖の環境保全活動に寄付するキャンペーンを展開いたします。

株式会社 太田種苗

(営業課長代理 大前勝裕)

種苗や農業資材販売、植物の栽培を通して豊かなみのりと喜びを感じてもらえるよう、そんな感動に立ちたいと願って、信頼、期待に応えていきたいと思います。

巨木と水源の郷をまもる会

(会長 青木 繁)

安曇川の源流に生育するトチノキ巨木群の調査及び保全に取り組んでいます。また、伐採された巨木林の再生、トチの実の結実調査、地域再生への取り組みも行っています。

甲賀高分子株式会社

(総務経理課 小泉 弘)

我社は、高分子素材を中心とする包装用・工業用製品を設計・開発しております。環境に配慮した提案、素材開発を続けており、様々な環境に優しい製品を提案いたします。

株式会社 新聞素材

(代表取締役 高橋 功)

新聞古紙100%リサイクル商品を販売しております。特に封筒は、企業・市役所・公共団体様等に広くご使用頂いており、環境に良い商品をご提供しております。

有限会社 東吳竹堂

(マネージャー 中西孝志)

研修会を期にグリーン購入、環境への取組みなどを朝礼で話すようにしています。社員も環境に対する意識が高まっており、身近なことから取組んでいます。

有限会社 美鈴環境サービス

(代表取締役 鈴木健司)

環境保全に通じる経営戦略と害虫駆除・抗菌消臭等の衛生面の両視点からのコンサルを行っております。滋賀GPNの、中小企業の活力になるようなイベントを期待しております。

現会員数:445 (2011年8月31日現在)
(企業389、行政22、非営利団体34)



会員発エコ商品情報

3M ウィンドフィルム、 マルチレイヤーナノシリーズ

新江州株式会社

業界初 カーボンオフセット認証製品です。

マルチレイヤーナノは高い性能をもった窓用透明遮熱フィルム、窓へ貼ることで紫外線を99%以上カット、赤外線を92%カットできます。ナノフィルムを貼っていない窓と比較すると窓際温度が約6度も低くなり、部屋全体の温度も1~2°C下がります。省エネ、CO₂排出削減につ



室外
室内
赤外線カット 92%

ながるだけでなく、地震などの災害時にガラスの飛散を防止する飛散防止効果もあります。

<お問合せ> 新江州株式会社
長浜市川道町759-3(びわ工業団地内)
TEL:0749-72-8200
E-mail:t_kitagawa@shingoshu.co.jp

次回掲載情報
(商品・サービス)
募集中!

雨水をためると、心も潤う 「雨水タンク」

NPO碧いびわ湖

雨は、一番身近な水源です。雨水タンクを縦樋(たてどい)につないでおくと、雨が降ったときには樋が水道代わりになって、じょろじょろと水を溜めてくれます。たまたま水は、グリーンカーテンの水やりや掃除などに使えます。また、災害時には貴重な非常用水源になります。

さらに、地下貯水槽、高性能コレクター、くみ上げポンプなどを組み合わせると、洗濯やトイレの流し水などにも使えます。

はじめませんか、雨水活用。
雨が待ち遠しくなりますよ。



<お問合せ> NPO碧いびわ湖
近江八幡市安土町下豊浦3
TEL:0748-46-4551
E-mail:info@aoibiwako.org

編集後記

今年は大きな災害が続き、「節電」への取り組みが様々な場面で意識されています。そして、「節電」と同時に「環境」に配慮した製品やサービスへの関心も一層高まっていると感じています。

最近、私たちのサークルでは大学内の学生を対象に、環境配慮文具の使用頻度や、今後の使用に関する考えを知るためのニーズ調査を行いました。具体的には、普段使っているノート類の写真を撮影し、アンケートも実施しました。調査結果から、現状では学生の間で環境配慮文具が普及しているとは言い難い傾向が見えてきました。しかし、一方で普段使用している文具が環境配慮製品であれば良いと考えている学生が多いことも分かってきました。

私たちの役割は、この調査結果を文具仕入れ担当者や文具メーカー等に見ていただけるよう、橋渡しをすることだと思います。今後、この調査結果を元に、学生に使いやすく、かつ環境に配慮した文具を新たに生み出したいと思います。

『グリーン発エコ文具でグリーン購入を広めよう!!』を合言葉に頑張ります！

(普及啓発部会 山崎晃代／滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル)

この8月から事務局の一員に加わりました。よろしくお願いいたします。

東日本大震災以来、事業所や家庭で様々な節電に取り組まれています。この夏、我が家でも、日当たりのよい窓際にゴーヤを植え緑のカーテンを作ったり、寒冷紗で日光を遮ったり。どうしても暑さのしのげない時には扇風機で涼をとる。結局、来客のあった時以外、エアコンを使わずに済みました。今までエアコン頼りの生活でしたので、少しの工夫とわずかな辛抱をすることで節電ができました。

今、地球温暖化の問題は人類の抱える最重要課題といわれています。地球上に生きる70億の人々が心身とも安全に暮らしていくためには、家庭等のミクロな所から環境を意識した取り組みの積み重ねが大切になり「グリーン購入」の役割が高まっています。より多くの団体、企業の皆さんに「滋賀グリーン購入ネットワーク」へご参加いただき、より積極的な活動と情報の交換を展開していきたいものです。

(滋賀GPN事務局長 尾中和夫／(財)淡海環境保全財団)

編集・発行／滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807

滋賀県大津市松本一丁目2番1号 大津合同庁舎6階

TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586

E-mail:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:<http://www.shigagnp.gr.jp/>

このニュースレターは、GPN GL14「オフセット印刷サービス」発注ガイドラインに基づき作成しています。



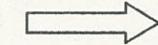
正誤票

滋賀 GPN News 第20号 3頁「グリーン購入大賞」受賞事例報告に誤りがありました。正しくは下記の通りです。

誤

第12回審査員奨励賞受賞

株式会社伊藤園



第12回審査員特別賞受賞

株式会社伊藤園

※関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

正